

神奈川大学の発展をめざして



施設も充実していく神奈川大学
木造校舎から鉄筋コンクリート校舎へ（1962年）

神奈川大学は、当初「横浜大学」の名称で新制大学の設置をめざしました。しかし、横浜市内の他の専門学校も「横浜」の地名を用いた大学を設けたく、校名の決着は容易にはつきませんでした。結局、学校の代表者による会談で決めることとなり、席上米田は、学生からも提案のあった「神奈川大学」とすることを宣言しました。こうして誕生したのが、神奈川大学のほか横浜国立大学、横浜市立大学でした。

名称を決めた米田は、戦後の厳しい状況のなか、教育の果たす役割と教育者の責任もまた重いという自覚のもと、ゼミナールの徹底、クラス担任制度、専門学校以来の実学教育をすすめていきました。



（上）神奈川大学校歌発表会 米田と作曲者高田三郎および作詞者神保光太郎 （下）神奈川大学第1回卒業式（1952年）